

「流れ星ゲーム」

—作品の一部を見てどの作品かを当てよう—

- *ねらい
 - 作品の色、形、質感など、細かいところまでしっかり見る。
- *準備
 - <アートカードみえⅠ>または<アートカードみえⅡ>をグループ数分とリーダーの分1セット
 - 穴をあけた厚紙（丸、四角、星型 など）
 - 筆記用具
 - ワークシート
 - 実物投影機など、作品を映す機器
- *場の設定
 - 1グループ 4～6人程度
 - アートカード64枚分を並べられる広さ（枚数は減らしてもよい）
- *評価
 - 「流れ星ゲーム」を楽しむことができたか。（関心）
 - 作品の一部の色、形、質感などを注意深く見て、その作品を見つけることができたか。（鑑賞）
- *備考
 - 厚紙にあける穴の形や大きさは、いろいろなものを準備しておく。
 - 正答が出にくい場合は、穴の位置をずらしたり穴の大きさを変えたりする。

★ワークシート例★

名前（ ）

めあて 色や形など、作品をしっかり見る

●分かったカード _____ まい

●感想を書こう。

「流れ星ゲーム」

—作品の一部を見てどの作品かを当てよう—

★授業展開の例★

学習活動	指導のポイント
<ul style="list-style-type: none">●アートゲームで「流れ星ゲーム」を知ることを知る。●アートカードを表に向けて並べる。作品の一部を見て、並べたカードの中からその作品をさがすことを知る。●ゲームをする。●正解した数を発表する。●感想を書く。●後片付けをする。	<ul style="list-style-type: none">○個人でさせてもよいし、チーム対抗にしてもよい。○必要に応じてカードの数を減らしてもよい。○リーダーは作品を一枚選び、穴のあいた厚紙で覆ってプレイヤーに見せる。機器などを使って見やすいように工夫する。○1回で正解が出ない場合は見せる場所を移動させたり穴の大きさや形を変えたりして見せる。○正解したらそのカードをもらい、ゲームが終わった時点で一番多くカードを持っていたプレイヤーまたは、チームを勝ちとする。○カードは上下（裏表のシール位置）の向きをそろえ、番号順に並べて返却させる。